

23年度拠出金・交付金収支の現状を報告

保険財政共同安定化事業・高額医療費共同事業委員会



保険財政共同安定化事業・高額医療費共同事業委員会は、12月19日（月）、府国保連合会で開催された。

本会中森事務局長の開会挨拶のあと、委員改選により委員長に京田辺市国保医療課の上村課長、副委員長には京丹波町住民課の下伊豆課長が選出された。



委員長議事進行により、平成22年度事業結果報告、平成23年度事業の拠出金・交付金収支の状況について、11期、12期を10期と同額で仮算出し見込み拠出金を算出したものを説明した。

平成24年度保険財政共同安定化事業の拠出金は現行どおり対象医療費30万円、拠出方法は被保険者割40%、医療費実績割40%、所得割20%とした。また、23年度実績見込額から保険財政共同安定化事業交付金には5%の伸び率を見込み、高額医療費共同事業交付金には8%の伸び率を見込んだ額を算出し、提示した。

京都府は、今後の保険財政共同安定化事業における対象医療費や拠出方法の見直しについて、国の方向性を踏まえながら、市町村広域のための作業部会等で検討していきたいと説明した。